

校訓 「くじけるな のびよ身と心 大望をもて」



あかぎ

赤木名の子らよ、大木になれ・七本のあかぎ

2月号 平成30年2月26日(月)発行

◀ いのち チャレンジ(挑戦) 感動 感謝 ▶

## 「お蔭様」の感謝の気持ちを

校長 前田 和洋

学校だよりの標題にいのち チャレンジ(挑戦) 感動 感謝の文字を入れています。その全てを表現するかのよう、厳冬の中、2月9日(金)から平昌(ピョンチャン)オリンピックが開催され、連日日本選手の活躍が伝えられています。直前の怪我を克服して金メダルを獲得したフィギュアスケートの羽生結弦選手や開催国のライバルに勝ってオリンピック新記録で同じく金メダルを獲得した小平奈緒選手、メダリストを揃えたオランダをチームワークで破り金メダルを獲得したスピードスケート団体追抜きの選手たちの健闘で、メダル獲得数でもこれまでの最高を記録しています。子ども達には、これらのオリンピック選手の活躍を日本人としての誇りとするとともに、その不撓不屈の精神やこれまでの弛まぬ努力の過程から多くのことを学んでほしいと願っています。その中でも子ども達に学んでほしいのは、各選手から発せられる周りへの感謝の言葉です。どの選手も必ず試合終了後のインタビューで、指導者やサポートメンバー、応援してくれる地域の人々や国民に対して感謝の気持ちを伝えています。それは、オリンピックへの出場やそこでの成果が、周りの人びとの支えによって成就されていることを自覚しているからだと感じます。子ども達にも家族や学校、地域の協力で思う存分に学習やスポーツ、少年団等での活躍ができるのだという事を感じて欲しいです。学校長としての私自身も、保護者や教職員、教育関係機関、さらに地域の皆様の「お蔭さま」で学校運営を進めることができていると感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。



# 感謝

# 感動

### ～赤木名の子どもたらと光に～



オリンピックと同時期になりましたが、鹿児島県下で毎年盛り上がりを見せる県下一周駅伝競走大会が県本土で21日まで開催されました。今年は、本校区在住の重野竜太選手や池田勇建選手が大島地区代表として活躍されました。本校児童にとっては、普段から接する身近なお兄さん達がこのように県下で輝きを見せることは、憧れであり自慢でもあります。私たちの校区や地域にとっても誇りです。今後もお二人のより一層の御活躍を期待するところです。

今年度はバレーボール少年団の全国大会ベスト8を初め、野球、空手、水泳、サッカー等のスポーツ面で子どもたちの活躍が見られ、校長室にも優勝旗や賞状が並んでいます。島唄での全国大会出場もありました。このように大きな場で光り輝く子どもたちに、誇りを感じています。今後も図工や作文、理科記録等の各種作品展での入賞や様々な舞台での発表など、日常の学習の成果を発揮してくれるものと確信しています。また、子どもたちが学力面でもより一層輝きを見せられるようさらに努力してまいります。今後も学校教育への御支援、御協力をよろしくお願いいたします。

# 挑戦

毎月第3日曜日の午前中は、家庭の日・市民清掃の日